

## 雪だるま造形検討6回目

- 紐を解いて処理をし直して、球体の高さを調整し、体のバランスを改善した。



(←バランスを改善した雪だるま)

- 目のボタンを補強するため、ボンドで貼り付ける前に糸で縫い付けておいた。



(←雪だるまの顔にボタンを縫い付けている様子)

●以前、半紙を貼って LED の光を和らげることを決めていたが、半紙の貼り方が悩ましかった。試しに球の中に綿を入れて光らせると、半紙を貼っていた時と同じくらい光が和らいだから、半紙を貼るのではなくて綿を球体に詰めてから LED テープを入れようと思う。



(←球体に綿を詰めた様子)

(綿のストックが少なかったため)頭に綿を入れて、体は何も入れない状態で光らせている。下の画像のように、綿を詰めている頭は何も詰めていない体に比べて光がやわらかい。半紙を入れた時と同じくらいの光の柔らかさである。



(←頭に綿あり、体に綿なしで光らせている様子)

●球体同士の繋ぎ目は、LED テープの出し入れの関係で半分しか繋がっていないが、繋がっていないところを安全ピンで留めるとしっかり繋がり、頭を支えることができた。安全ピンで留めている部分はマフラーで隠すことができた。



(←安全ピンで繋ぎの補強をしている様子)



(↑マフラーを巻いて首元を隠している様子↑)